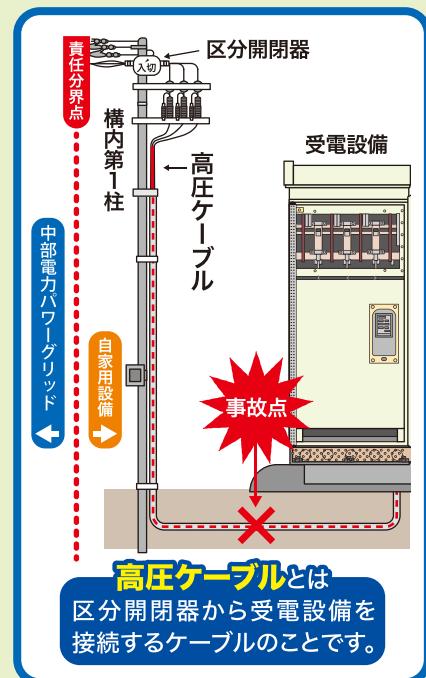


波及事故の影響について考えましょう。

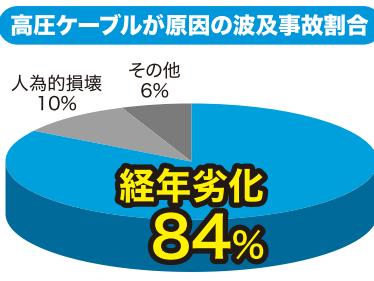
うちの事故が原因でどんでもないことになった!



高圧受電設備設置者の皆さんへ 波及事故を防止するためには 【高圧ケーブル編】



2005~2018年度 中部地区における波及事故の実態



(一財)中部電気保安協会データより

ケーブルが原因の事故は、復旧までに長時間を要します。材料の手配や既存ケーブルが抜けない等の理由で、事故発生から復旧まで数日を要した事例もあり、長時間停電に伴う操業停止により多大な損失が発生します。

こまつた!



波及事故の損害額について

1. 波及事故発生者の損害額例

- ①突然の停電による操業停止等の費用
- ②緊急の仮設工事の費用
- ③破損した電気工作物の改修費用は状況により100万円～1,000万円以上と様々です。



波及事故が発生すると、自社の損失だけでなく、他社の営業・操業停止など、社会的に大きな影響[※]を及ぼします。場合によっては、多大な損害賠償を請求されるケースもあります。
※事故発生箇所の付近一帯(約千軒の需要家)が停電します。

2. 波及事故被害者の損害額例

- ①突然の停電による操業停止等の費用状況により1,000万円を超える事例もあります。

参考:関東東北産業保安監督部 波及事故防止のお願い
～自家用電気工作物設置者の皆さまへ～

高圧ケーブル編における各種波及事故防止対策



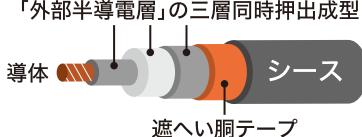
Q.1
経年劣化対策はどうすれば良いか?



A.1

高圧ケーブルの経年劣化により突然停電が発生するため、定期点検及び計画的な更新が重要です。定期点検(外観点検・絶縁抵抗測定・水トリー診断)の実施により異常を早期発見し、15年を目安に、計画的に高圧ケーブルを取り替えましょう。ケーブル更新は水トリー劣化に対して信頼性の高いE-Eタイプをお奨めします。

定期点検
通常点検項目
・外観点検
・絶縁抵抗測定
精密点検項目
・水トリー診断

計画的更新 E-Eタイプ
「内部半導電層」と「絶縁体」と
「外部半導電層」の三層同時押出成型


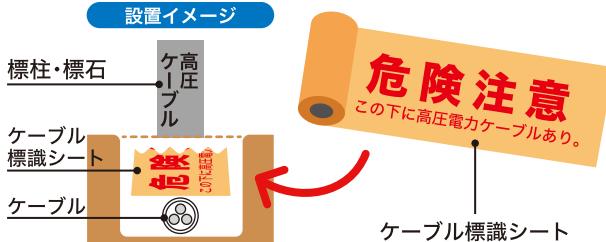
Q.2
人為的損壊(掘削等)
対策はどうすれば良いか?



A.2

電気設備の周辺で掘削工事を行う場合は、電気主任技術者と十分な打ち合わせを行うことが重要です。ケーブル埋設場所には省令※に基づきケーブルを埋設している旨の表示をしなければなりません。

※電気設備に関する技術基準を定める省令 第47条第1項



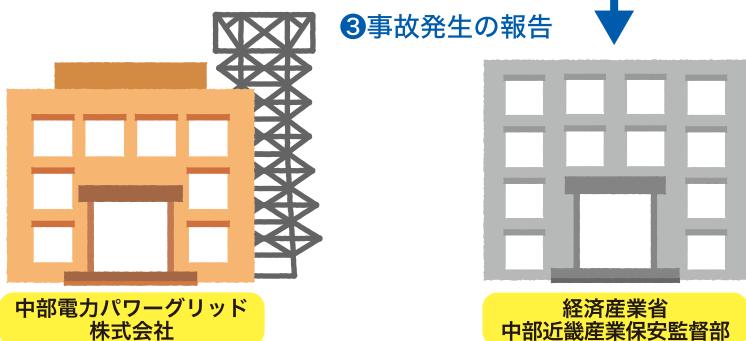
波及事故が発生したときは



- ① 電気主任技術者および中部電力パワーグリッドへ至急連絡※しましょう。
- ② 電気主任技術者と復旧方法や原因調査について相談しましょう。
- ③ 規則※に基づき24時間以内に経済産業省中部近畿産業保安監督部に報告(速報)、30日以内に電気事故報告書を提出しなければなりません。

※電気関係報告規則 第3条

※緊急時に備え連絡体制を整備しておきましょう。



適切な時期に
更新することも
必要です。

高圧設備の
各機器の
更新推奨時期(参考)

高圧受電設備の施設環境や、
機器の使用状況によって
更新時期が異なります。

高圧交流負荷開閉器	屋外用: 10年または負荷電流開閉回数200回 屋内用: 15年または負荷電流開閉回数200回 GR付開閉器の制御装置は使用開始後10年	高圧進相コンデンサ	15年
高圧CVケーブル	15年((一社)日本電線工業会調べ)	高圧配電用変圧器	20年
交流遮断器	20年または規定閉開回数	避雷器	15年

※参考:(一社)日本電機工業会「凡用高圧機器の更新のおすすめ」報告(平成17年3月)

自家用電気設備事故防止対策連絡会

経済産業省 中部近畿産業保安監督部
(一社)中部電気管理技術者協会
(一社)日本配電制御システム工業会中部支部

(一財)中部電気保安協会
中部大口電力需要家協議会
電気安全中部委員会

中部電力パワーグリッド株式会社
中部電気工事業組合連合会

(一社)日本電設工業協会 東海支部
(公社)日本電気技術者協会 中部支部

(順不同)